

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成29年4月27日 (2017.4.27)

【公開番号】特開2015-227552(P2015-227552A)

【公開日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-112912(P2014-112912)

【国際特許分類】

E 0 3 D 3/00 (2006.01)

E 0 3 D 1/28 (2006.01)

E 0 3 D 5/01 (2006.01)

【 F I 】

E 0 3 D 3/00

E 0 3 D 1/28

E 0 3 D 5/01

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月21日 (2017.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジェットポンプ作用により洗浄水を便器本体に供給して洗浄する水洗大便器装置であって、

汚物を受けるボウル部と、このボウル部に洗浄水を導くための導水路とを備えた便器本体と、

この便器本体に供給する洗浄水を貯水する貯水タンクと、

少なくともその一部が上記貯水タンク内で水没した状態で配置されたジェットポンプユニットであって、このジェットポンプユニットは、その一端が上記便器本体の導水路の入口に接続され、その他端には吸引口が形成され、この吸引口が上記貯水タンク内の下部に位置するように配置されたスロート管と、このスロート管の吸引口に向けて洗浄水を噴射してジェットポンプ作用を誘発させるジェットノズルと、を備えたジェットポンプユニットと、

上記貯水タンク内に配置され、上下方向に延びる壁面と、底面とを有し、上記貯水タンク内に小空間の区画を形成する区画容器と、を有し、

上記区画容器の下方には、洗浄水がジェットノズルによりスロート管の吸引口に吸引されているときにおいて、上記貯水タンク内に貯水されている洗浄水を、上記区画容器の下方から、上記区画容器の外側に配置された上記ジェットノズル及びスロート管の吸引口の方へ流す下部流水路が形成されていることを特徴とする水洗大便器装置。

【請求項 2】

上記区画容器の底面は、上記貯水タンク底面と上下方向に離間されており、上記下部流水路は、上記区画容器の底面と上記貯水タンクの底面により形成されている請求項 1 記載の水洗大便器装置。

【請求項 3】

上記下部流水路の上下方向の高さは、下部流水路を形成しない場合に、洗浄時の水位降下中に、上記ジェットノズル及びスロート管の吸引口近傍の領域上の水面の高さと、その

他の領域上の水面の高さとの間に生じる上下方向の水位差とほぼ同じ高さである請求項 1 又は 2 記載の水洗大便器装置。

【請求項 4】

上記下部流水路の上下方向の高さは、5 mm ~ 20 mm の高さに形成されている請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の水洗大便器装置。

【請求項 5】

上記ジェットノズル及び上記スロート管の吸引口は上記区画容器に対して左右何れか一方の領域に配置され、上記便器本体の上記導水路の入口に接続される上記スロート管の一端が上記貯水タンクの左右方向中央に配置され、上記下部流水路は、上記貯水タンクの左右方向中央近傍から上記ジェットノズル及び上記スロート管の吸引口側に亘って形成されている請求項 2 乃至 4 の何れか一項に記載の水洗大便器装置。

【請求項 6】

上記下部流水路は、上記区画容器の底面全体の下方領域に形成されている請求項 5 記載の水洗大便器装置。

【請求項 7】

上記下部流水路は、上記ジェットノズル及び上記スロート管の吸引口側において、流路が広がる拡大部を有する請求項 5 又は 6 記載の水洗大便器装置。

【請求項 8】

上記区画容器は、さらに、その壁面を貫くように形成された開口部を形成し、この区画容器の上記開口部を開閉し、上記ジェットポンプユニットを通じて上記便器本体へ供給する洗浄水量を変更することができる切替弁を有する請求項 1 乃至 7 の何れか一項に記載の水洗大便器装置。